

官房第一〇二七號

錦州口老鐵山燈臺及附屬建物之比較

案

書記長

大臣

次官

副官



參事官

於三月十九日起案

三
發付

軍務局長

經理局長

總政本部長

第一部長

局員

勝

532

1514

件

的破損少、因田、置積子若干、取換、回
 轉、富林、少許、修繕、ヲ、加、レ、ハ、点、修、ヲ、
 越、ハ、此、際、應、急、ノ、程、度、ニ、於、テ、改、修、理、実、施
 致、度、ヲ、案、先、以、テ、航、路、標、識、管、理、所、取、手、及
 船、之、名、宛、ヲ、回、地、へ、出、張、セ、シ、ノ、費、額、其、他、ノ、関
 心、カ、見、込、リ、定、メ、シ、レ、度、此、段、及、照、會、也
 明治三十八年三月廿一日
 大臣
 通信大臣宛
 此、件、航、路、標、識、管、理、所、ト、ハ、下、地、打、名
 海、軍、運、送、船、ニ、係、ル、モ、ト、シ、之、カ、時、期、等、ニ、関
 リ、海、軍、運、送、船、ニ、係、ル、モ、ト、シ、之、カ、時、期、等、ニ、関
 レ、テ、ハ、航、路、標、識、管、理、所、ト、直、接、照、會、セ、ル、ハ、分

秀勝吉申懐巻也

1516



軍機第六三號

本月十日付軍務口、稱テ、豫ル、標、順、口、老、鉄、山、燈、台、應、急、修、理、テ、當、示、シ、テ、依、托、テ、來、本、官、旨、以、内、儀、ヲ、都、了、第、七、八、別、紙、差、支、テ、キ、具、又、一、通、テ、大、毛、其、修、理、テ、等、之、関、シ、テ、一、先、當、示、技、手、餘、工、ヲ、七、張、セ、シ、テ、實、地、調、査、修、復、上、其、費、額、等、更、テ、取、極、メ、檢、核、改、定、其、旨、以、來、旨、迄、取、申、一、反、付、及、テ、回、答、其、也

光緒三十八年三月十日

航路標識管理部長 草間時福



海軍省軍務局長 齋藤實殿

海軍省軍務局長 齋藤實殿



二紀

杉原口荒浜山燈台應急修理等ノ件ニ責務
 兼 燈台ノ修理ニ當リテ必要ナル材料等ノ
 採買及シテ燈台ノ構造ニ關シテ必要ナル
 諸子毀換ノ外ハ其補助ニ於テ寸法等調査ノ上
 本採用ノ分回送ニ義旨ヨリ内談致意シ以テ
 此ニ換硝子ハ框ノ上下ニ依リ大小相若ク
 之カ取扱ニ練熟ノ者ニテハ調査ノ旨確ク
 難ク若シ調査誤謬等ノ場合ニ即テ是致
 修理ニ時日ヲ要スヘク且其他ノ換取ニ就
 當地ニ於テ材料製作ノ上ニ是等ノ要ス
 可トモ付添一先ニ指示致工ヲ派遣ニ
 調査セシ

メタ上其報告ヲ待テ送付ノ事ニ決意爲本件決定
ノ上ハ詳細ハ協議ノ上取極メ於梯段ニ於同左
ノ事ヲ申付ル事ニ於中達 也

西曆一千九百一十一年

草間航路橋渡管理部長



山口海軍少佐殿

海軍

軍務局長



局長



電報

老鉄山煙草、件ハ持身ノ人撰券ニ
關シ既路線鐵道管理所ト内議中ナリ
不日出張ノコトニナルヘシ

三十八年三月十三日 前日 軍務局長

海軍大臣 齋藤實

1521

軍務局

次方

電傳 三ノリ

旅結兵隊長

先織山燈立玉如調、体ハ如河ナリ依
少ヤ可ナキ、出ル心市如斗リ希如キ

局員

1522

供覽

軍務局長

經理局長

局長

主任局員

案

分

其節より電報に依りて八幡口至鉄山橋

帯広附属建物に比較的破壊少クテ園田

覆積子四十八枚、内十八枚ヲ取換、回轉

器材ニ少許ノ修繕ヲ加テ、八点燈差支

ナキ模様ニ越ニ付テハ、此際應急ノ修繕

ニ於テ修繕實施トテ、先所ノ修繕時ヨリ電

方ハ、此等支、考シテ先以テ此部各派

知修、此段及内儀ト也

第四〇號

軍務局

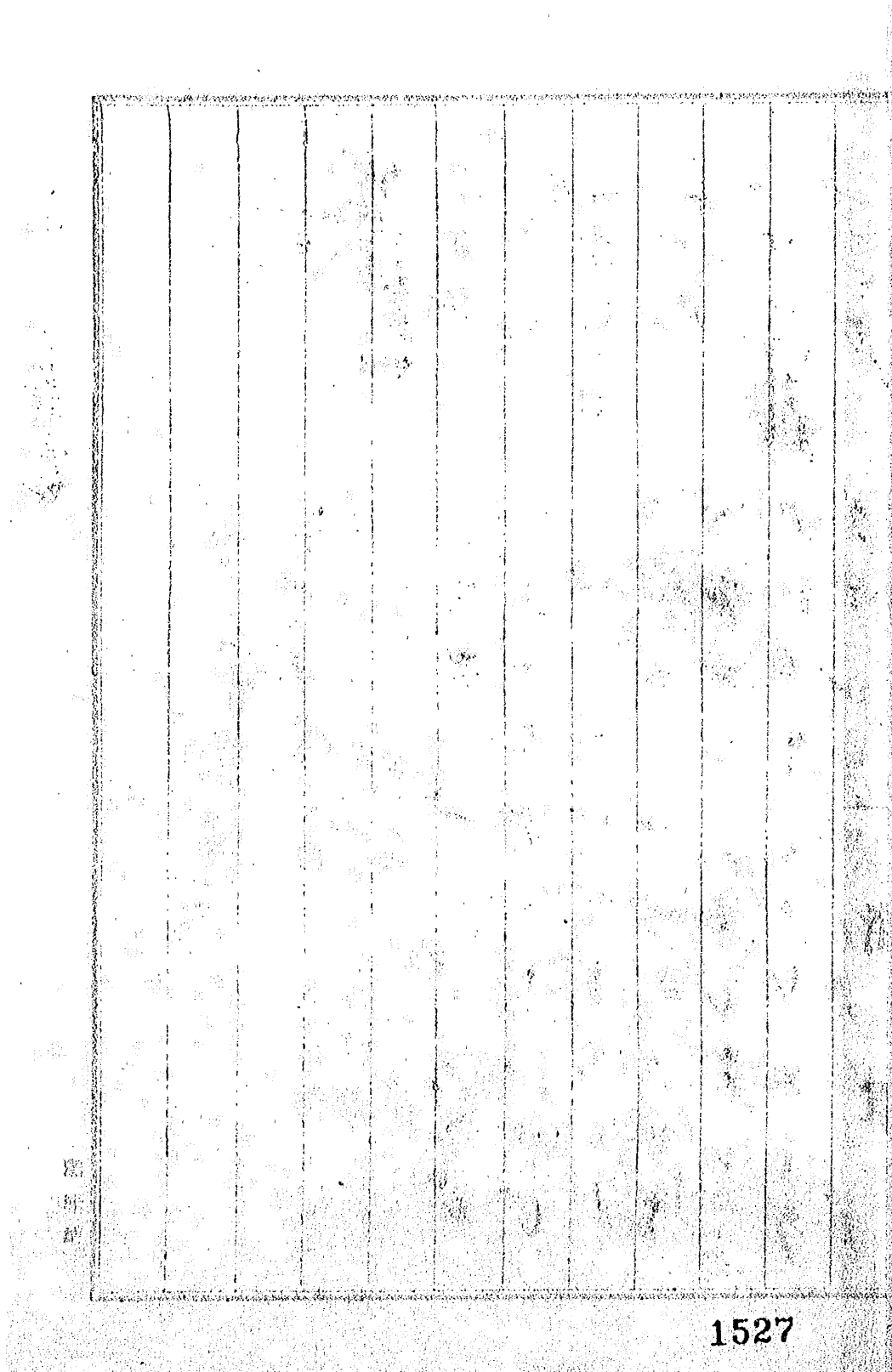


電譯 三月廿九日 旅順 度

本館 旅順 鎮守 右 参考 譯長

老鑿山コウから燈台及番舎共其建物ハ比
較的破損少シク多少ノ修理ヲ要ス燈火
周圍ノ覆からス四八枚の内一八枚破損シテ
取外シテリテ十枚ハ分ク存ス破損本見込
回轉各機ニ修繕ヲ要ス右ニ付航路標
識管理ノ事 技師シテ 調査セラル
必要ニ付至急派遣 方其向ハ傳交
涉々希望ス

三三三



1527

電報送達紙

着局				発局		受信人名所			
取次	信受	三	七	第	報	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>			
ノ	ハ	ク	ロ	三	局			<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>	
ク	ハ	ク	ロ	五	報				
ク	ハ	ク	ロ	日	局	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>			
ク	ハ	ク	ロ	分	報			<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>	
ク	ハ	ク	ロ	字	局				
ク	ハ	ク	ロ	號	報	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>			
ク	ハ	ク	ロ	定	報			<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>	
ク	ハ	ク	ロ	指	報				
ク	ハ	ク	ロ	番	報	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>			
ク	ハ	ク	ロ	號	報			<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>	
ク	ハ	ク	ロ	記	報				
ク	ハ	ク	ロ	印	報	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>			
ク	ハ	ク	ロ	附	報			<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">友</div>	
ク	ハ	ク	ロ	日	報				

1528

電報送達紙

局 着		局 發				所 名 人 信 受	
收 受 者 信	信 受 午 時 分	付 受 午 時 分	第 月 日 號	第 報 局 號	着 信 第 號	注 意	
キ	ナ	ケ	ス	一	定 報		
キ	ナ	ケ	ス	一	事 記		
キ	ナ	ケ	ス	一	印 附 日		
キ	ナ	ケ	ス	一			
キ	ナ	ケ	ス	一			
キ	ナ	ケ	ス	一			
キ	ナ	ケ	ス	一			
キ	ナ	ケ	ス	一			
キ	ナ	ケ	ス	一			
キ	ナ	ケ	ス	一			

1529

海防

旅順第一四五號之三

供覽

軍務局

老鉄山燈臺調査結果已電報申進
置キ候處插ホ別紙寫之通報書提出候
ニ付キ為法参考及法送付候也

明治三十二年三月五日

王利旅順口鎮守府参謀長



齋藤海軍次官殿

局員



海

三十五

老欽山燈台調査人命ヲ奉シ三月二日宇都宮技
手ヲ從ヘ同処ニ出張シ現状調査スルト左ノ如シ

一燈台

鐵造ノ廻旋燈台ナリ但シ廻旋装置ヲ取外サレ
今明ナラス

二十四個ノレンズハ總テ取外サレ附近ニ並置シテ何
レモ完全ナリ

レンズノ外部ヲ包被スル硝子張ニ四十八個ノ硝子板
ヨリ構成セラレ内三十個ハ完全十八個ハ破損也

一 附屬建物

り

主たる建物ハ四棟ニテ別紙平面圖ノ如ク配置セリ

レ

甲号ハ約五十三坪

(番倉ナラン)

乙号ハ約十八坪

(備置那人ノ倉ナラン)

丙号ハ約九坪

丁号ハ約七坪

(物置ナラン)

ニシテ甲号ノ一室ニ於テ家根及壁ノ一部並ニ天井ノ全部及丁号ニ於テ一室ハ破損ノ甚ナ破損

ニシテ修理容易ナリ

一 信号竿

信号竿及旗格納所完全ナリ

一 井戸

約百五十間ヲ隔ツル溪間ニテ水質良

好ナルヲ如シ

右報告仕ル也

明治三十二年三月四日

主計部員 井川 喜久藏

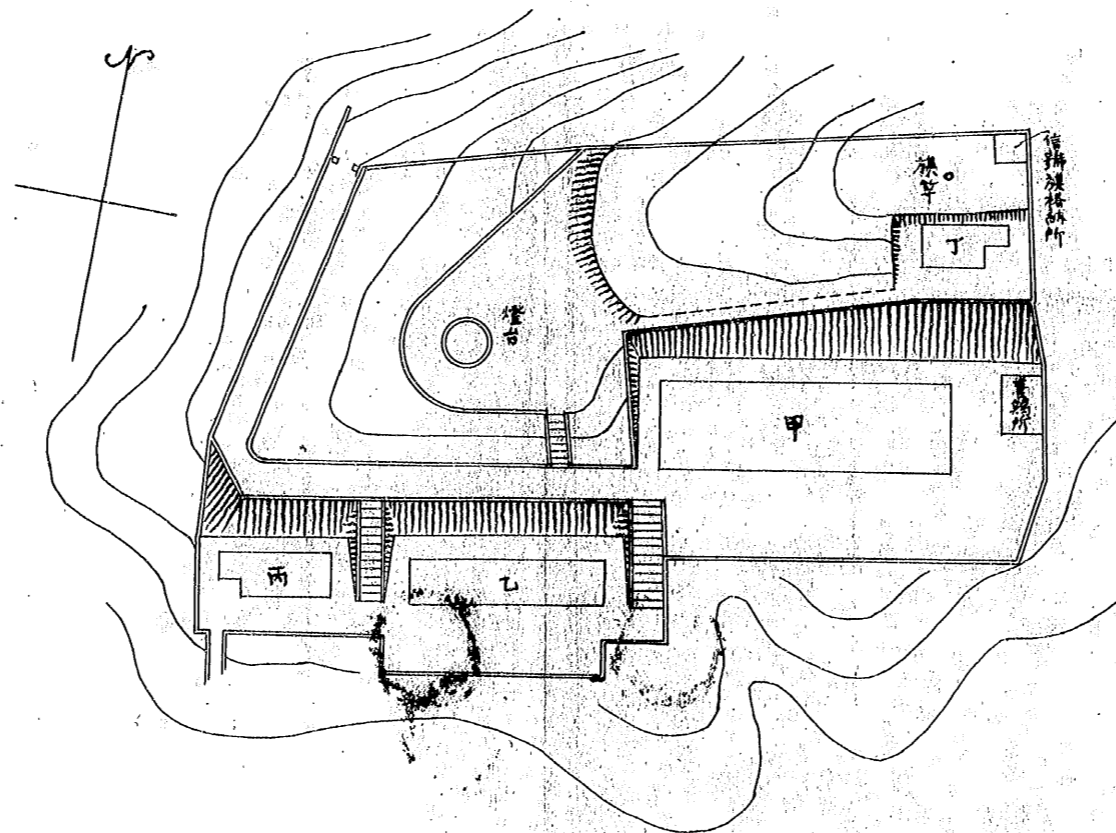
司會長 野山 大八藏

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

演

目

1535

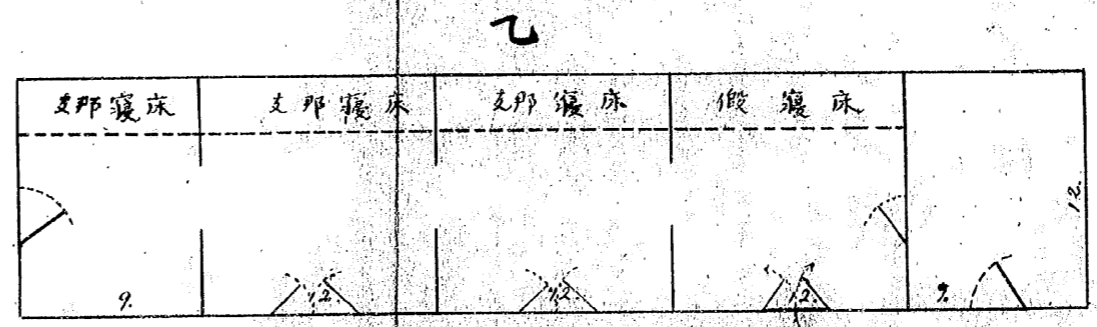
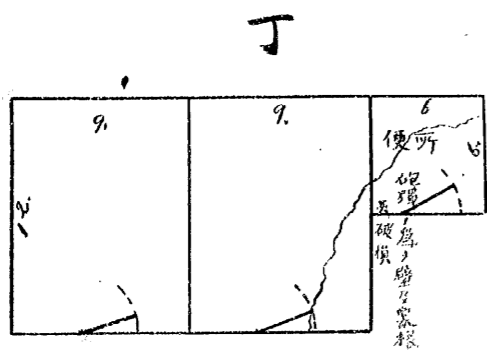
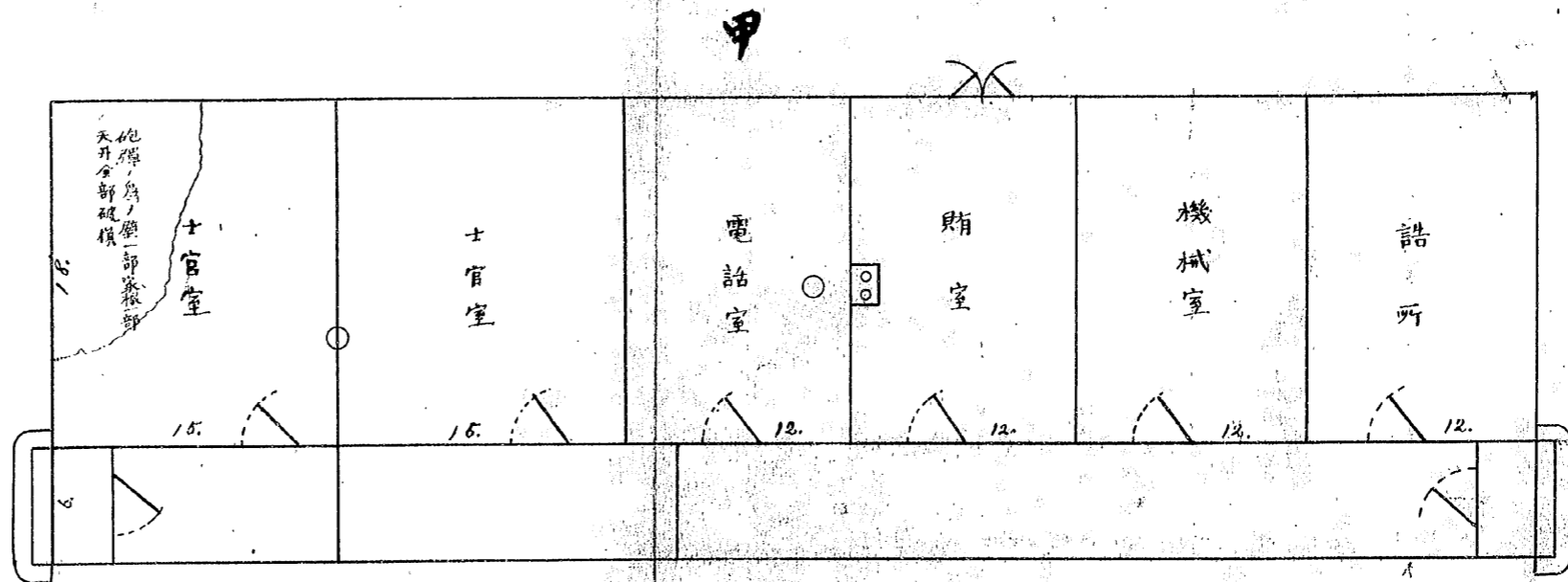
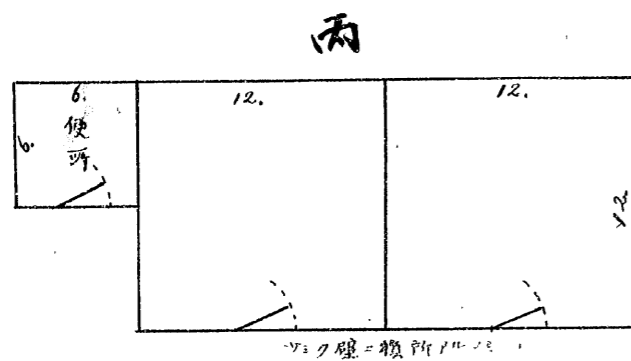


平面位置圖

縮尺六百分之一



1536



供覽

1/6/16



軍務局長



局員



海

軍

件

電報

三十八年五月十八日

軍務局長 青島

旅順 各課長

燈臺ノ側スル電報ヲ領承者虎尾

燈臺ハ其ノ附近ニ砲台アレド守備兵ヲ

入ルニ適カナル家屋ヲキニ付兵營ニ充テアル

ニ付テハ異議ナキノミナラス却テ燈臺所ナリトノコトアルニ

付地日修結ノ起ルハキ便者ナシト信ス

山中合名會社印行

1538

電 報 送 達 紙

局 着		局			發		氏所名居人信受
取 扱 者	受 信	信 午 後 前	付 午 後 前	第	月	日	
	時 分	時 分	時 分	報	報	報	
	イ	✓	コ	イ	リ	区	定 指 事 記 注 意 他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受クタルモノハ此由ヲ符 録シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ
	ナ	フ	カ	キ	ス	カ	
	シ	キ	ヘ	ル	イ	イ	
	ト	タ	リ	コ	コ	イ	
	シ	コ	ト	キ	ト	イ	
	シ	ル	ト	キ	ト	イ	
	シ	ル	ト	キ	ト	イ	
	シ	ル	ト	キ	ト	イ	
	シ	ル	ト	キ	ト	イ	
	シ	ル	ト	キ	ト	イ	

1540

經理書

海軍省

海

軍

軍務局長代



局長



雷沼村

老鉄山、老虎尾、及白玉山各塔石ハ總テ点燈ニ美
岡ナキ程度ニ於テ、故修理美加方公物通信省ハ
ニ事依テ、答ナレハ出張中、故手ヨリ管理所長ヘ、披
告ニ依テ、老虎尾塔石ニ、目下陸軍兵守備中ニテ、將
校以上、初明ナレハ出入ヲ許サズ、又トアリ付テハ、点燈石
ハ陸軍河上管理ニ属スルモノナリ、故テ、修繕ノ物依テ、修
繕ノ先ヲ先以テ詳細回電ナリ、トシ

辛未年五月十七日

海軍省海防局長 田中

田中 合名會社印行

1541 非

軍機局

事務司

御書



御書



方音中 抄字 在 各 派 考 考

今 爲 御 書 抄 字 考 考

馬信者く物行方所危枕ニありて老淡山

老淡山 白石山 各燈台 修理完成

点燈 差支 燈台 修理 白石山 同日 夜間

出入港 禁止 付 不必 知 付 老淡山 航路

保安 爲 点燈 必要 付 燈台

考人 派遣 せしめ 付 燈台

六り せしめ

詔 燈台 修理 考考

御書

大臣 考

海軍

六三七

1542

1/10
1545

旅順口方面に艦隊を流すべし
人艦ともに艦隊所在の
に艦隊を流すべし
軍艦隊及回送の艦隊
現場に在る艦隊
三来西日船の艦隊
日艦隊及び回送の艦隊
物も送る艦隊
日艦隊及び回送の艦隊



Handwritten signature or mark.

1545

長崎藩士 山本清三郎

長崎藩士 山本清三郎



山本清三郎

山本清三郎

長崎藩士 山本清三郎

1546



方面ノ名燔

文才キニ多クハキ

名ハ以テ活ノ次

所ニ要スルハキ

者若技ノ毎ニ

ハ長ハ其徳

者若人傑ヲ

満ス也

1548 1547

近之者ハ其徳ヲハ失ルニレテ其
以テ中ノリシ
人ノ其徳ヲカ
軍務ヲ

明治三十八年八月十日

厚野の巻

既読標済吾理の巻

1549

電務局

139

内名六八公

大正



電洋

五月二十日

付送ノ七名也

海

五年

葛麻角燈竿ニ乗シ船中ニ行長

局員

北緯ニ十九度

ニ十七度ニ十八分

ニ十七度ニ七分

ニ十七度ニ七分

ニ十七度ニ七分

チカ

磁針方位

田中在米...

1551 1550

軍務局



大正

電洋

五月二十日

海

五年

付送正七名



局員

葛島麻角燈竿三葉之組塔城経長、
 報告ニ依リバ北緯上ノ位ニ北緯三十九度
 十二分十六秒東經三十七度三十八分
 二十六秒海面上高昇ルヲ十七呎基礎
 上二十呎射界南六十度東多ク南
 二十七度四分西也ハ照サズ
 磁針方位
 北極星照高明カナラス

山田合名會社印刷

1551 1550

電報送紙

局 着			局 發			受入所居氏名	
取 扱 者	受 信	受 信 時 分	受 信 時 分	第 一 號	報 局		
ト	ト	ト	ト	ト	ト		
フ	フ	フ	フ	フ	フ	注 意	
ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケルモノハ由由ヲ符 號シテ此レヲ配達シタル電報局所へ返戻スベシ 決シテ受取本人ニ送ルベカラズ	
カ	カ	カ	カ	カ	カ	事 記	
イ	イ	イ	イ	イ	イ	定 指 	
チ	チ	チ	チ	チ	チ	名氏所居人	
セ	セ	セ	セ	セ	セ		
リ	リ	リ	リ	リ	リ		

海軍機密第一 第三六八号

局員

掉尾崎報告
假設せし登竿立置概略

別紙之通候條此段報告候也
明治三十年五月十四日

佐世保鎮守府司令長官 鮫島 勲



海軍大臣 男爵 山本 權兵衛 殿

海

軍

五ノ七

棹尾崎燈竿

一 該燈竿ハ對馬國上縣郡佐護村湊ヨリ西北南

ニ在リ木造白色塗ニシテ湊ヨリ其巨濶約壹里ナリ

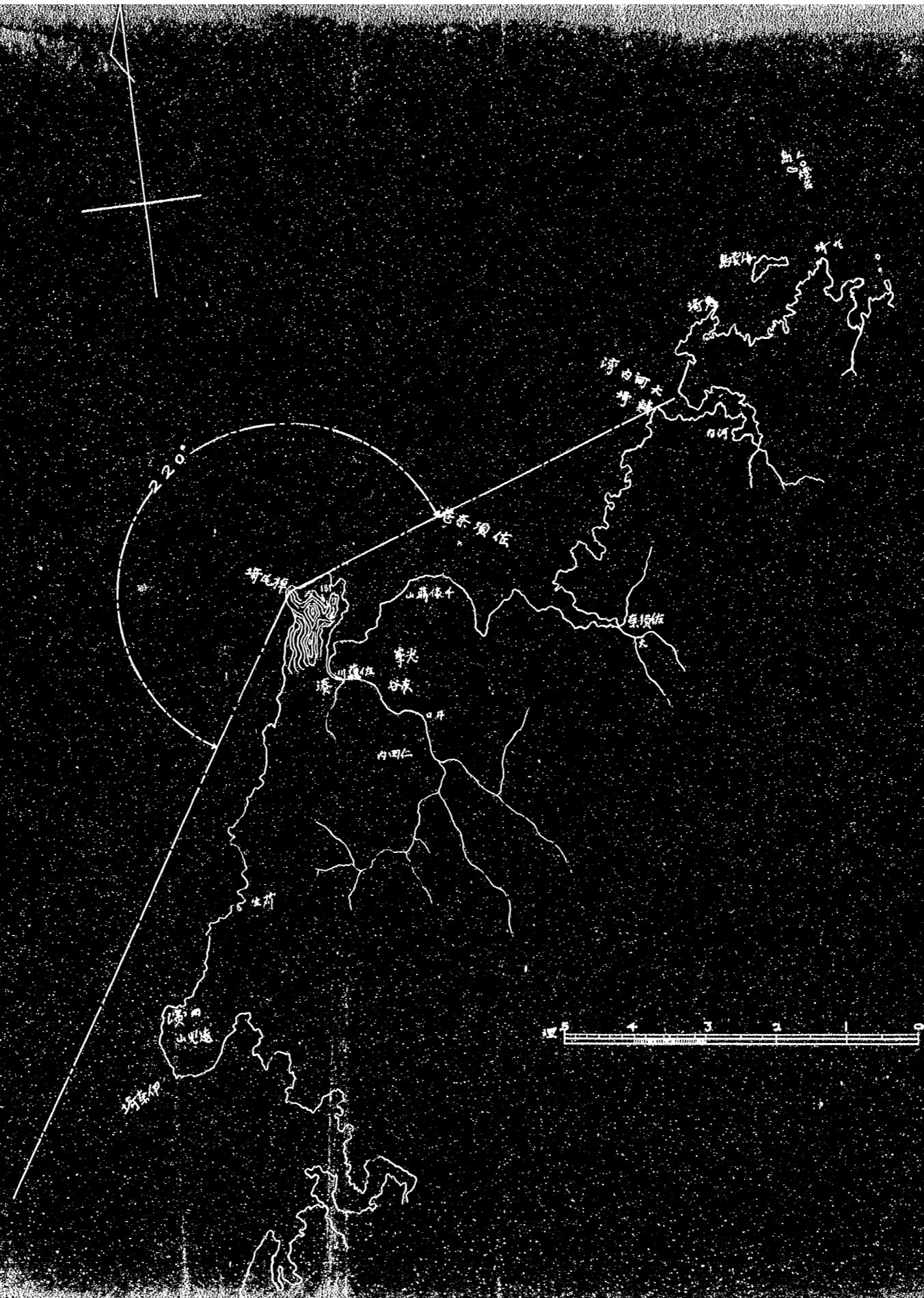
一 看守員詰所ハ燈竿ヨリ七拾間ノ処ニ在リ

一 該燈竿ハ水面ヨリ高百三拾尺基礎ヨリ三拾廿尺ナ

一 該燈竿ハ不動赤色ニシテ北三十九度東ヨリ東南ヲ經テ

南七十九度東ニ至ル間見ルヘシ

對馬國棹尾埼燈竿位置圖



1556

郵務局

佐鎮機密第一番三六ノ三

局員

報告

郷崎及鴻島之役設七之燈竿位置概略
紙之通三條此段報告候也

明治二十八年五月十一日

佐藤鎮守府司令官 鯨島員



海軍大臣男爵 山本権兵衛殿

五ノ十五

柳崎燈竿

一 燈竿、対馬国下縣拜武徳嶋、其口柳崎、最先端ニ在
リ、木造、白色塗ニシテ、御崎望標ヨリ、其巨高百五尺間ナリ
一 燈火、不動、緑色ニシテ、水面ヨリ、高百七尺基礎ヨリ三十
五尺ナリ

一 者、寺負詰所、御崎望標、其ニ在リ

一 燈火、北ニ十七度十五分、東ヨリ、東、南、ヲ、經テ、北、七十
九度十五分ニ至ル、向、見ルベシ

嶋島燈竿

一 燈竿、韓岡嶋島頂上ニ在リ、木造、白色塗ニシ
テ、望標ヨリ、其巨高二百尺ナリ

一 敬燈天ニ不動白色ニモテ水面ヲ高三百八十二尺基
 礎ヲ三十二尺ナリ
 一 敬燈天ニ全夜ニモテ四周ヲ見ルハク得ル
 一 看者負詰所ニ望嶽ノ南側ニ在リ

佐世保轉成舎印刷